

第3回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員（15名）

内海 一嘉委員、太田 博久委員、木下 敏彦委員、小池 修次委員、小林 妙子委員、
薩摩 建委員、武井 幸子委員、竹澤 幸男委員、西澤 賢委員、新田 隆史委員、
濱 章義委員、林 賢司委員、藤森 すず子委員、御子柴 健朗委員、横内 文雄委員

（※欠席者…有賀 利恵子委員、太田 深穂委員、佐藤 一樹委員、中山 昇委員 計4名）

（事務局）

市長	早出 一真
副市長	小口 道生
教育長	宮坂 享
企画政策部長	岡本 典幸
総務部長	藤澤 正
市民環境部長	城田 守
健康福祉部長	帯川 豊博
産業振興部長	木下 稔
建設水道部長	小口 浩史
教育部長	白上 淳
教育担当参事	両角 秀孝
議会事務局長	中村 良則
岡谷市民病院事務部長	名取 浩
企画課長	仲田 健二
企画課統括主幹	清水 亮
企画課主幹	芳沢 幸祐
同主査	大塚 英邦
同主査	藤森 大悟
地域創生推進課長	小平 寛
地域創生推進課統括主幹	荻原 浩樹
同主査	矢澤 祐輔

第3回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和5年11月1日（水）
午後1時30分～午後2時40分
市役所 9階 大会議室

1 開会

○市民憲章唱和

2 市長あいさつ

本日は、大変お忙しい中、岡谷市基本構想審議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本市では、第5次岡谷市総合計画に基づき、将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、6つの基本目標を掲げ、積極的にまちづくりを推進してきております。

この第5次岡谷市総合計画前期基本計画が今年度をもって終了することから、令和6年度を初年度とする5年間の後期基本計画の策定を昨年度から進めてまいりました。

策定にあたりましては、本審議会による前期基本計画の評価・検証のほか、多くの市民のみなさんの意見をお聴きしながら、計画案として取りまとめましたので、本日、諮問させていただきます。

この第5次岡谷市総合計画は、私自身が市議会議員時代に審議して、賛成したものでありますし、市長が変わったとしても、総合計画はめざすまちの姿や方向性を示すものでありますことから、その方向性が大きく変わるものではないと思っております。

そのような中にはありますが、本計画案における重点プロジェクトについては、私の想いを込めた4つの柱を掲げさせていただいております。

この4つの柱に、皆様の忌憚のないご意見をいただく中で、肉付けをしてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

皆様には、大変ご負担をおかけしますが、幅広い視点からご審議をいただき、12月中旬までにご答申いただければと思っております。

いただく答申につきましては、最大限に尊重してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私からのあいさつとさせていただきます。

本日はよろしくお願ひいたします。

3 会長あいさつ

皆さんこんにちは。委員の皆様には毎週の委員会にご出席いただき、本当にありがとうございます。

いよいよ本日、第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案）の諮問を受ける段取りとなりました。諮問を受けて、計画内容の審議に入るわけでございます。

積極的に、かつ慎重に審議をしてまいりたいと思っております。

よろしくお願ひいたします。

4 諮問

岡谷市総合計画の策定に関する条例第4条第2項及び同施行規則第5条第2項の規定に基づき、第5次岡谷市総合計画基本構想及び後期基本計画について、市長が本審議会に対し諮問。

(諮問書受領 会長)

※諮問後、早出市長、小口副市長、宮坂教育長 退席

5 会議事項

第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案）について

(1)「基本構想」について

副会長（司会）	それでは、これより次第5の会議事項に入ります。 ここからの進行は会長にお願いいたします。
会長	それでは、議事を進行させていただきます。 本日の会議事項は、ただいま諮問を受けました第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案）についてです。 (1)「基本構想」について事務局より説明をお願いします。
岡本企画政策部長 仲田企画課長	(1)「基本構想」について 資料：第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案） (資料に基づき、P58まで説明)
会長	ただいまの説明について、質問・意見ありましたらお願いします。
委員	18ページ以降の市民アンケートの状況について、①本市の暮らしやすさについては前期基本計画策定の時よりもプラスの回答のパーセンテージが向上しています。 また、③行政満足度、④定住意向もプラスの回答のパーセンテージが向上しておりますが、②本市に対する愛着については、プラスの回答のパーセンテージが下がっています。 前期基本計画の策定時よりも全体的に意識的なものがプラスになっているように捉えましたが、②本市に対する愛着だけ下がっているのは、何かやり方が違うのか、それとも実際にそういった意識が下がっているのか、わかりましたら教えていただければと思います。
岡本企画政策部長	市民アンケートについては、基本的には同じ条件で出している状況であります。 なぜここだけ落ちたのかというところにつきましては、しっかり分析はできていないところがございます。 その時の中学生、高校生が、そう感じたというデータとしてご理解いただければと思います。
委員	少し後ろ向きの数字ですから、気になりました。 一つ心配なのは、今回は愛着や親しみを感じているかどうかという設問であったのが、今回は好き、どちらかというところと好きというような単純な設問の仕方となっております。

	<p>その辺で、もしかしたら中学生、高校生の捉え方に変化が生じたのではないかとも考えました。</p> <p>ただあまり数字が下がるというのは面白くないですし、できれば上がっていった方がいいと思っていますので、もしまた時間があるときに分析をしていただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>40ページの施策4-1 学校教育の推進の中で、ウェルビーイングというキーワード、ここ最近定着している言葉ではありますが、なかなかウェルビーイングというのは明確にこういうものだというものを言いにくいイメージもあったので、ここに敢えてウェルビーイングという言葉を入れたというところの意図を教えてください。</p>
<p>両角教育担当参事</p>	<p>説明の中でもありましたが、この総合計画というのは、行政がつくる最高の計画ということであります。</p> <p>また、教育行政は、法律に基づき政府が定める教育振興基本計画という、国が目指す教育の姿を示す計画があり、昨年度から策定が進められ、本年度策定されました。この計画は最新のこれからの教育の目指す姿という位置づけであり、至るところにこのウェルビーイングという言葉が位置付けられております。</p> <p>この国の計画を受けて、長野県の教育委員会が定める教育振興基本計画が本年策定されております。そこにも国の流れを受けて、長野県の教育行政の目指す姿として、ウェルビーイングという言葉をもっとキャッチコピーとして使われているという背景がまず1つあります。</p> <p>委員さんおっしゃるとおり、ウェルビーイングという言葉は、我々大人が聞いても何のことだと、イメージが具体的に掴みにくい言葉であります。</p> <p>直訳すると、すべての人々が良い状態であるというように捉えることができますが、教育の中ではこれを多幸感や有用感に包まれた幸せの実現というような言い表し方をするようであります。</p> <p>ここでは学校教育という政策の文面を整えておりますので、学校教育というように捉えますと、対象になるのは子どもたちになり、子どもたちにとって幸せな状態というのはどのような言葉がいいかというところで、このウェルビーイングという言葉が、国、県でも大切に使われておりますので、その手前、有用感に満たされたその子の幸せ、この実現を目指すことが、国・県が目指すウェルビーイングの実現というように言い換えさせていただいて、ここに納めさせていただいた。そんな考え方です。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。国、県がこのキーワードを作り上げ使っており、それに従っていると理解いたしました。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページで、基本構想、基本計画、実施計画とあります。</p> <p>以前、会議の日程をいただいた時には、後期基本計画（案）に対する答申を12月18日に行うということまでが示されていたと思いますが、ここでいう実施計画というのは、本審議会のミッションには入っていないという理解でよろしいでしょうか。</p>

岡本企画政策部長	<p>基本構想審議会でご審議いただきたいのは、4ページ一番上の基本構想、期間10年間、その下の基本計画ということで、前期5年間、後期5年間という部分であります。</p> <p>実施計画というのは、市側で来年度からの3か年、どういう予算付けをしているかというものをまとめたものになります。</p> <p>こちらにつきましては、市側で策定するというような形でありますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>そうしますと、実施計画3年間の進捗についてはどういう形で我々が知ることになるわけですか。</p> <p>一番最後の5年後ということになるわけですか。</p>
岡本企画政策部長	<p>こちらの実施計画は1年ごとローリングをしていきます。</p> <p>我々が予算を立てるときには、3年間の計画を立てていきますが、その年の計画、その次の計画をこのようなことで事業展開をしていきますというものを作ります。</p> <p>そちらの状況につきましては、毎年5月ぐらいに開催しております基本構想審議会にて、今年度の予算の状況はこういう状況、このような形で、この計画に基づいて事業を展開しますというご報告をさせていただきますので、その時におわかりになるのではないかと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>幹線道路の整備についてお伺いしたいと思います。</p> <p>釜口水門のところが朝晩はすごい渋滞で、大変時間がかかり、岡谷に仕事に行きたくないという声も聞かれることもあります。</p> <p>その中で、スマートインターチェンジができれば、もっと混雑して渋滞されると思われれます。</p> <p>交通網の整備に取り組みますと書いてありますけれども、どんな取組をするのか教えていただきたい。</p>
小口建設水道部長	<p>スマートインターチェンジについては、現在整備を行っておりますけれども、3,400台/日の車がスマートインターチェンジを出入りするといった交通量を予定しております。</p> <p>ただ、実際開通してどういう交通形態になるのか、岡谷方面にどれだけ入るのか、諏訪方面にどれだけ入るのかというのは、開通後しっかり調査して、その動向を把握していく予定しております。</p> <p>そのような中で、確かに委員さんおっしゃるとおり、岡谷・茅野線は非常に交通渋滞が激しい状況であります。</p> <p>基本的に県道でありますので、県には少しでも渋滞が緩和できるように、お話をさせていただいておりますし、大きなところでは、都市計画道路という形で指定してありますので、大きな中長期的な視点からすると、どのような道路整備をしていくかということ、この後期基本計画の中でしっかり検討したいと考えております。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>

<p>委員</p>	<p>35ページの中に、12-1 地球温暖化防止対策の推進を新しく加えていただきました。私ども環境市民会議おかやからすれば、非常にいいタイミングで載せていただいたと思い、感謝しております。</p> <p>内容も拝見しますと、適切な表現をしていただいております。</p> <p>同じページの17-3 自治体DXの推進のところ、先ほど説明がありましたけれども、このDXについては、後に語句の説明がありますけれども、前期基本計画のICT（情報通信技術）利活用の推進では、ICTの後に括弧して情報通信技術と、この時点で説明をしていただいておりますが、今回、何で括弧を取ってしまったのかなと思いましたが、例えば、DXの後に括弧をして語句の説明を何か書いていただければわかるのかなと思います。</p> <p>もう一つ、細かいことで恐縮ですが、30ページのグラフの一番下の年のところでは、2020年からあります年の上にポイントを明確にするポツが真ん中にありません。</p> <p>前期基本計画では、きちんと年の上、真ん中にポツがあります。パッとグラフを見た時に、あれっというふうになりましたので、年の上に、そのポイントを明確にする印がついてればいいかなというお願いであります。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>DXにつきましては、表記の仕方でございますので申し訳ありません。</p> <p>30ページのグラフにつきましては、修正可能ですので修正させていただきます。申し訳ありません。</p>
<p>会長</p>	<p>55ページで、「業務の効率化を促進します。同時に、人的資源を行政サービスのさらなる向上に役立てるなど、」と非常に良いことが書いてありますが、いわゆる行政改革的な職員の適正配置ということは考えないですか。</p> <p>人口が今47,000人くらいの推移をしております。やはり、それなりの職員数というのは努力する必要があると思うので、その辺の考えはどうですか。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>こちらの自治体DXというのは、まさしく今、会長さんがおっしゃったように、国としますと人口が減少していき、我々公務員も人数が減ってくるといった中で、DX、デジタル化をすることにより、機械でできることは機械に任せ、人でなければできない部分につきましては、機械に任せたことにより生まれた部分を人でなければできないところに持ってくるというのが、この自治体DXの基本的な考え方です。</p> <p>さらに、自治体だけではなく、市民の皆さんが24時間、どこでも色々な手続きがとれるようにするというのが、この自治体DXの推進というように形になっておりますので、今回、施策17-3で自治体DXの推進というように入れさせていただいておりますけれども、行政の方は行政で行政改革的なものをやっていきますし、市民の皆さんについては、デジタルを使って市民サービスの向上を図っていただくというような形の記載でありますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ご期待を申し上げます。</p> <p>続けてになりますが、計画（案）の中に「地域」という言葉が頻繁に出てきます。</p>

	<p>例えば、36ページで「家庭、学校、地域、企業、行政が」、41ページで「家庭、学校、地域と連携し」、48ページで「市民、地域、企業、関係機関と行政が」とあります。</p> <p>そして、53ページ政策16までいくと、「市民をはじめ学校、区、NPO、市民活動団体、企業など」と記載されており、「区」としっかり記載しているのは政策の16だけであります。</p> <p>先に申し上げた「地域」は何を意味しているのか、地域というのは範囲で地理的な話だと思いますが、いかにも団体みたいな言い方をしております。</p> <p>この言葉の使い分けがきつとできていない。地域住民を言っているのか、区を言っているのか、ほかの活動団体を言っているのか、具体化していく中で、どこを指しているのか、誰にやってもらいたいのかということをはっきりさせたほうがいいと思います。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>前期基本計画の時からこのような記述をしております。</p> <p>少しこちらの言い訳をさせていただくと、それぞれのところで都合よく地域という言葉を使っているのかなと思っております。</p> <p>会長さんからそういうご指摘がありますので、その辺のところについては、明確にできるものは明確にしていきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>そのほかに質問等ありましたら申し上げます。</p>
<p>委員</p>	<p>43ページの産業の振興、工業振興並びに商業・サービス業の振興というところで、キーワードとして、新規創業の支援、あるいは創業者を積極的に支援というようなワードが出ております。</p> <p>先般、市長さんを通じて、商工会議所でも創業支援の充実のお願いをしております、産業競争力強化法という国の法律に沿って、ぜひ支援をお願いしたいと思っております。</p> <p>そこで質問ですけれども、創業を支援する支援機関と市では契約など何らかの関係を結んでおりますか。</p>
<p>木下産業振興部長</p>	<p>委員さんお話になられました計画に基づいて、進めさせていただいております。</p> <p>新規創業支援の部分は、国の認定を受けている計画を、ここで5年間の延長申請をしていく予定であります。その中で、商工会議所、金融機関、支援機関と連携して努めるというような形になっております。</p> <p>また、会議のあるごとに、そういった情報共有をしたり、工業の関係であれば工業活性化会議という中で、商業の関係であれば商業活性化会議という中で、意見をいただいたり、報告をさせていただき、反映をしているというような状況であります。</p>
<p>委員</p>	<p>そうしますと、特定の支援業者との関係というのは今のところないということでしょうか。</p>
<p>木下産業振興部長</p>	<p>特定の方をお願いをしてという形ではなく、セミナーですとか、商工会議所や諏訪地域の6市町村で協力して創業塾という創業希望者の方の塾的なものを開いて、経営から色々な経理のやり方、経営計画の立て方など、そういったところに、金融機関ですとか、それぞれの支援機関の方が講師となって、創業の立ち上げの支援をしているというような状況でありま</p>

	す。
委員	ありがとうございます。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。
副会長（司会）	<p>時代の変化の特徴として、ぜひご一考いただきたいと思っているのが、37ページの施策2-2の高齢者福祉の推進のところ、真ん中の辺りに「地域での見守りを推進するとともに、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケア体制を構築」と書いてあって、これはもうおっしゃるとおりだと思いますが、仕事柄、非常に強く感じることがあります。</p> <p>最近やはり、お一人様とか、お子さんがいらっしゃっても、なかなかお子さん達にいよいよの時のことを頼れないという人たちが非常に増えているというのを実感しております。</p> <p>エンディングの方の終活という言葉がもう完全に世の中に定着してきていて、自分の会社でも、そういうことに非常に力を入れて、バックアップ体制を整えている中で感じていることが、表現が難しいのですが、もしもの時のことまで考えて、いろんな準備をしておくことが、残りの暮らしの月日の充実に繋がると思います。</p> <p>もしもの時にどうすればいいんだと非常に悩んでいらっしゃる方が多くて、そこを解決して差し上げること、そこまできちんとご提案をして、ご納得をいただくという形を整えて差し上げることが、実は残りの人生のQOLを上げていくということに繋がるのだということを非常に感じております。</p> <p>ケアマネさん達からもそういう言葉をよく聞きますものですから、この地域包括ケア体制ということの中に、亡くなるまでしか入ってないというのがどうしてもおかしいと思っております、亡くなった後のことまで、やはり視野に入れて考えていただくことが、本当の意味での包括ケアになるのではないかと感じております。</p> <p>ですから、文言の表現は非常に難しいと思っておりますけれども、その辺りのところを幾らかでもうまいこと表現として入れていただいて、かつ、そういう体制を整えていただくことが、実感として、より良い高齢者福祉につながっていくのではないかと感じております。</p> <p>あくまでも意見として受けとめてください。お願いいたします。</p>
帯川健康福祉部長	<p>ありがとうございます。ご意見として検討をしていきたいと思っております。今、副会長さんが言われたとおり、終活の部分については、成年後見センターでも新しく中核機関を設けて活動していただいております、今年度も何度か研修をやっていただく中で広めている部分もあります。</p> <p>ですので、この中で表現ができるかどうかは難しいかもしれませんが、この後の後期基本計画や実施計画のほか、今後、重層的な支援で取り組んでまいる部分がありますので、そういったところで反映できる部分、また表現し、広報、周知など事業として展開できればと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
副会長（司会）	ありがとうございます。
会長	そのほかに質問等ありましたらお願いします。

副会長	<p>35ページで、先ほど、ほかの委員さんから自治体DXの推進について質問がありました。今、岡谷市には湊公民館、川岸公民館、長地公民館があって、そこには職員が配置されていて、住民票等を出していらっしゃると思いますけれども、マイナンバーの普及もありますし、自治体DXの推進により、予算的に職員配置をこれから考えていくような形を取るのでしょうか。</p>
岡本企画政策部長	<p>究極はそういう形にはなろうかと思いますが、まだまだ、マイナンバーカードも全員に行き渡っているわけではありませんし、そうは言っても機械を使うことが苦手な方もいらっしゃいますので、長い将来的に見た場合はそういったところについて、やはり閉鎖ということも出てくるかと思えます。</p> <p>ただ、ここ5年、10年後に閉鎖する必要があるかどうかというのは、現時点ではまだ難しいのではないかとこのところでもあります。</p>
副会長	<p>公民館として、市民が体操教室とかに使うためには嘱託職員を1人配置して、存続していくということはいいのですが、住民票を出すとかそういったことは、近所の方は車があるから市役所に直接行くとか、戸籍などでは出ない部分があるので結局は市役所に行かなければならないという話を皆さんされているので、将来的には、人件費の関係もありますので、考えていったらどうかと主婦的に考えてしまいました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>以上で本日の会議事項は終了になります。 どうもありがとうございました。</p>
副会長(司会)	<p>会長ありがとうございました。 それでは、全体を通して委員の皆様から何かありますでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>そのほか、事務局から連絡事項等ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>次回、第4回岡谷市基本構想審議会について、お手元に開催通知を配付させていただきます。</p> <p>日時、場所につきましては、令和5年11月14日(火)午前9時30分から本日より同日9階大会議室でお願いいたします。</p> <p>審議箇所につきましては、後期基本計画、基本目標の一つ目、ともに支え合い、健やかに暮らせるまち(計画案の65ページから86ページ)と二つ目の基本目標、未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち(計画案の87ページから100ページ)までが審議箇所となります。</p> <p>恐れ入りますが、事前にお目通しをいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>なお、ご報告いただいております会議の出欠席に変更が生じましたら、恐れ入りますが、事務局までご報告をお願いいたします。</p> <p>また、前回、第2回審議会の委員報酬の控除所得税領収書と会議録を配</p>

	<p>付させていただきますので、ご確認をお願いします。 事務局からの連絡は以上でございます。</p>
副会長（司会）	<p>ありがとうございました。 それでは、閉会の挨拶を副会長お願いいたします。</p>
副会長	<p>それでは以上をもちまして、令和5年度第3回岡谷市基本構想審議会を閉会といたします。皆様、お疲れ様でした。</p>